

蜂谷葉子 & 大岡真紀子 ピアノデュオの魅力 in 白馬 vol.12

2026年11月7日(土) 19:00開演

11月8日(日) 11:00開演

15:00開演

(計3回公演)

エスプリと情熱～鍵盤を駆け巡る光と影～

ブゾーニ モーツァルトのピアノ協奏曲第19番終曲による
協奏的小二重奏曲

プーランク 2台ピアノと管弦楽のための協奏曲 (作曲者自身
による2台ピアノ編)

アルベニス 「イベリア」より 他

◇会場：アンプロムプテュ白馬◇入場料 2000円/小中学生1000円)

◇チケットのお問い合わせはこちらまで

〒399-9301長野県北安曇郡白馬村北城2869-1 (瑞穂地区)

アンプロムプテュ白馬 TEL.0261-85-4760

◇蜂谷葉子&大岡真紀子プロフィール

京都市立芸術大学卒業。その後それぞれフランス、アメリカなどで研鑽を積みながら、ソロリサイタルの他、オーケストラ、器楽、声楽とのアンサンブルなど様々な形で演奏活動を展開。2003年よりデュオ活動を開始。四手ならではの“ピアノが表現し得る新たな音の世界”を探究すべく、四手連弾、二台ピアノ用オリジナル作品に加え、オーケストラ作品の編曲ものや様々なジャンルの曲を手がけ、これまでに重ねてきた公演は130回を超える。「ふたりのピアノ」シリーズを大阪にて、「ピアノデュオコンサートシリーズ」を東京にて公演継続中。さらに「ピアノデュオの魅力」シリーズとして2006年、そして2008年以降毎年秋に京都・青山音楽記念館及び兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホールにて公演を開催。コンセプトのあるプログラムも含め、好評を博す。本シリーズ番外編、2人のソロによる「モンボウ“歌と踊り”」全曲演奏会を2012年5月に、続いて2014年5月に本編Vol.7の姉妹版でもある番外編Vol.2「もうひとつの顔～ラヴェルの作品とその周辺～」を開催。2013年より「ピアノデュオの魅力in白馬」を開催。ライブ感溢れるコンサート作りを目指す2人のデュオは、常に現在進行形。